

直売所と地域農業者唐の協同による魅力ある地域の創出

みやこ町豊津地域活性化協議会（みやこ町（旧豊津町））

【地域協議会構成団体】 みやこ町豊津物産直売所利用協議会、直売所（国府の里）、JA福岡京築、みやこ町商工会、みやこ町（事務局）

1. 将来ビジョンの作成

策定年月：平成29年3月

- ・平成28年6月29日設立総会実施。

2. 将来ビジョン達成のための取組

I 農林業を守る

- ・新規就農者等の育成：イチジク・いちごの苗を配布（新規希望者がいなかったため既存生産者のみ）。栽培技術向上研修会の開催（H28・2回、H29・2回、H30・2回）。みやこ町主催の園芸農家育成講習会への参加（H29・2回15名、H30・2回15名）
- ・農作業サポートの実施：直売所による農作業の代行（利用者：H28・20名、H29・6名、H30・3名）、イチゴや花農家の集荷支援の実施（不定期実施）。

II 農林業の所得や雇用を増やす

- ・6次化商品の開発：みやこ甘味舎と共同で、あまおうやゆずを使ったソース、ドレッシング、プリンなどの開発、商品化を行い、みやこ甘味舎にて販売。
- ・都市圏での出張販売：北九州市を中心に実施（44回/年）。

III 地域の人口を増やす

- ・空家の活用：定住者を確保するため、定住促進PR動画（みやこ町作成）を直売所内のDVDで放映し、情報発信を行った。（平成29年9月から不定期実施）。
- ・体験イベント等の開催：農業体験イベントを観光まちづくり協会と連携して実施（H29年度参加者16人）。熊本や吉岐などの集客力のある他地域の物販を直売所での交流イベントとして実施（H28・3回、H29・5回、H30・1回）H30は、みやこ甘味舎と共同でみやこ町産のあまおうを使ったスイーツづくり体験を実施（参加者5名）。



【地元産のあまおうを活用した商品の開発】



【都市圏での農産物・加工品の販売】



【栽培講習会の参加者へ苗を配布】



【体験イベント(スイーツづくり)】

3. 今後の展望

- ・新規就農者を育成するための勉強会などの充実を図るとともに、新たな出荷者を確保するため、既存農家を対象にした種苗の配布支援を継続して行う。
- ・生産者の支援のための集荷と、買い物弱者の支援のための配達を同時に行っていくことで、地域の生産体制の維持を図る。
- ・みやこ甘味舎と共同による6次化商品の開発を継続強化することで、地域への集客を確保し、農業者の所得向上に繋げる。
- ・空き家バンクの登録推進や定住希望者への情報をHPなどで発信する。現状では、定住者の確保にいたっていないため、関係機関と協議を重ね、効果的なPRに努める。